

第5章

バリアフリー化の課題と取組方針

5-1 まち歩き点検調査

5-2 バリアフリー化の課題

5-3 バリアフリー化に関する取組方針

第5章 バリアフリー化の課題と取組方針

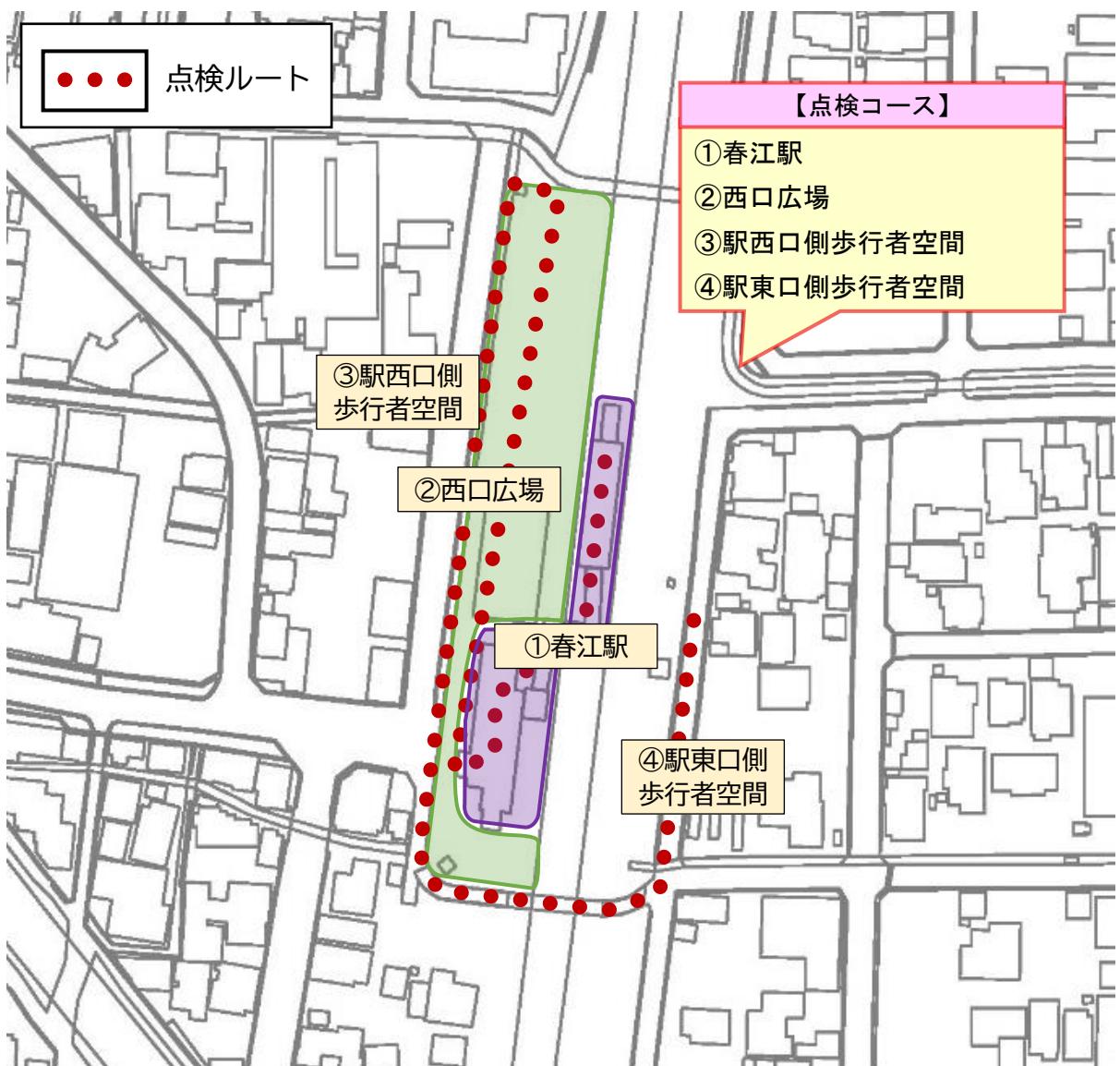
5-1 まち歩き点検調査

5-1-1 まち歩き点検調査の概要

基本構想の作成にあたり、バリアフリーに関する事業（特定事業）を検討するため、地区内の主要な「旅客施設（鉄道駅等）」「生活関連経路（道路）」を実際に歩きながらバリア（障壁）を確認・点検する「まち歩き点検調査」を実施しました。

実施日時	点検場所	参加者
令和7年9月30日(火) 13:30～17:00	春江駅舎、西口広場、駐車場、 駅周辺の主要な歩行者空間	委員等17名 学生13名

■点検箇所



5－1－2 主な指摘事項

(1) Aグループ

①春江駅舎

指摘箇所	指摘事項	番号
出入口	・駅舎出入口の勾配がきつい。 (縦勾配4%、基準は5%以下、やむを得ない場合8%以下)	1
	・乗降時の雨除けになる庇があると良い。	2
通路	・改札から階段方面への点字誘導ブロックがない。 ・通路横の側溝蓋のすきまが大きい。	3
エレベーター	・駅東西の両側から駅への出入り口とエレベーターを設置してほしい。	4
プラットフォーム	・待合室にしきりがない。 ・待合室にはエアコンや優先席があると良い。	5
	・プラットフォームの転落防止対策が必要。 ・待合室の横に柱があり、歩行者スペースが狭い。	6
トイレ	・トイレ入り口の幅が狭く、大きい段差がある。 (幅70cm、段差4cm、基準は、幅80cm以上、段差なし)	7
	・トイレは和式、スペース(通路)が狭い。 ・身障者用トイレがない。 ・トイレに子ども用椅子と鍵を複数設置してほしい(子どもが開けてしまわないように)。	8
改札口	・改札口が車いすやベビーカーでは通りにくい。 (幅68cm、基準は80cm以上の拡幅改札口を1箇所以上設置)	9

■指摘箇所の状況



※番号4に該当する写真なし。

②西口広場、駐車場

指摘箇所	指摘事項	番号
歩道等	・舗装が破損し、段差が生じている。 (段差 4.5 cm、基準は段差なし)	1
	・側溝付近に傾斜が生じている。 (勾配 7~8%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	2
	・グレーチングの網目が大きく、ベビーカーなどのタイヤが落ち込むリスクがある。	
	・駐車場方面の路面の傾斜が大きい。 (勾配 13%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	3
駐車場	・自転車と歩行者の動線が混在していて危険。	4
	・駅の入口近くにベビーカー利用者や身障者のための傾斜のない乗降スペースを設置してほしい。	5
	・身障者用の駐車場がない。	6
	・ベビーカー利用者のため駐車枠を広くしてほしい。	
	・駐車場の出入口がわかりにくい。	7
その他	・支払いがコインのみで不便。	8
	・月極と時間貸しの駐車枠が混在していて、わかりづらい。	
その他	・歩行者、自転車、自動車が混在していて危険。動線整理（歩車分離）が必要。	9
	・送迎スペースのすみわけが必要。	

■指摘箇所の状況



※番号 5、 9 に該当する写真なし。

③駅周辺の主要な歩行者空間

指摘箇所	指摘事項	番号
歩道等	・駅周辺歩道に雑草があり、歩行の妨げになっているなど、歩道が管理に問題がある。	1
	・駅西口側歩道の傾斜が大きい。 (縦断勾配 13%、横断勾配 18%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)。	2
	・駅東口側には、歩道がなく、駅へ直接出入りできる改札口もない。	3
立体横断施設	・地下道の傾斜が大きい。 (勾配 7.0~14%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	4
	・地下道の手すりが自転車側にあり、歩行者側に設置されていない。	5
	・出入口が傾斜していて、すぐに道路に出てしまうため、車いすが安全に停止できるスペースがない（駅東口側）。	6

■指摘箇所の状況



④心のバリアフリーに関するご意見

- ・実際の利用を想定した検討が必要。
- ・色々な立場の人の視点で考えることが大切。
- ・お互いに共存できる居場所づくり。

(2) Bグループ

①春江駅舎

指摘箇所	指摘事項	番号
出入口	・駅舎出入口を引き戸にしてほしい。 ・誘導アナウンスがあるとよい。	1
通路	・改札から階段方面への誘導ブロックがない。	2
	・溝蓋にガタツキがあり、車椅子での通行に不安があるため、直してほしい。	3
	・通路の屋根が連続しておらず、床も滑りやすい材質であるため、積雪時に車椅子の方の転倒が懸念される。	4
	・改札口を出て、すぐの手すりが見えづらい。 ・車椅子利用の児童が電車をしっかりと見られるような、柵を設置してほしい。	5
	・片麻痺の方の利用を想定して、階段中央にも手すりを設置してほしい。	6
階段	・最初の3段のみ異なる段差であり、躊躇かねないため、段差を統一してほしい。	7
エレベーター	・車椅子の介助者が、要介護者と一緒に乗れるように、サイズの大きいエレベーターを設置してほしい。	8
プラット フォーム	・転落防止柵がない。 ・誘導アナウンスがあるとよい。	9
トイレ	・異性介助がしやすい多目的トイレがほしい。 ・洋式トイレや洗面所の高さ等も車椅子の方へ配慮が必要。 ・介護者の同伴が必要な方と、一人で問題ない方の両ケースを配慮して、検討してほしい。 ・介護者の非常ボタンやトイレットペーパー、トイレ詰まりの対応が可能な体制を整える必要がある。	10
改札口	・幅が狭く、車椅子の方だけでなく、買い物帰りの健常者の方のためにも幅を大きくしてほしい。 (幅 68cm、基準は 80cm 以上の拡幅改札口を 1箇所以上設置)	11
券売機	・紙幣投入口の位置が高いため、車椅子利用の方への配慮をお願いしたい。 (高さ 120cm 以上、基準は 110cm 以下)	12

■指摘箇所の状況

1) 駅舎出入口	2) 通路	3) 通路脇の側溝	4) 通路屋根
5) 通路の手すりなど	6) 階段手すり	7) 階段段差	9) プラットフォーム
10) トイレ	11) 改札口	12) 券売機	

※番号8に該当する写真なし。

②西口広場、駐車場

指摘箇所	指摘事項	番号
歩道等	・駅舎入出口付近の傾斜が大きい。 (勾配 6%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	1
	・点字ブロックが途切れている。 ・歩道が途切れており、歩車分離がされていない。	2
	・駐車場へ続く通路の傾斜が大きい。 (勾配 13%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	3
駐車場	・整備計画案のロータリーや駐車場に、ベビーカー利用者や身障者のための乗降スペースを設置してほしい。	4
その他	・整備計画案の公園にはインクルーシブ遊具を設置してほしい。	5

■指摘箇所の状況



※番号 4、5 に該当する写真なし。

③駅周辺の主要な歩行者空間

指摘箇所	指摘事項	番号
歩道等	・地下道の西口側出入口付近の傾斜が大きい。 (勾配 7~8%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	1
	・地下道の西口側出入口付近のグレーチングの網目が荒く、車椅子の前輪や白杖が挟まりかねない。	2
	・駅西口側歩道の傾斜が大きい。 (横断勾配 8%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)	3
	・駅東口側には、駅へ直接出入りできる改札口がない。 ・歩道がない。 ・全体的に道路と線路に高低差があり、フラットにしてほしい。 ・暗くなると用水路と道路が判別しづらくなる箇所があり、転落防止が必要。	4
立体横断施設	・地下道の手すりが途切れしており、連続していない。	5
	・地下道の傾斜が大きい。 (勾配 7~14%、基準は 5%以下、やむを得ない場合 8%以下)。	6
その他	・東口側の空いたスペースを駐車場に利用する等、土地を有効活用して欲しい。	7

■指摘箇所の状況



※番号 7 に該当する写真なし。

④心のバリアフリーに関するご意見

- ・介護者の同伴が必要な方と、一人で問題ない方の両ケースを配慮して、検討してほしい（再掲）。

5-2 バリアフリー化の実現に向けた課題

まち歩き点検での指摘や予備点検（事務局で実施）の結果を踏まえて、バリアフリーの課題を以下のとおり整理しました。

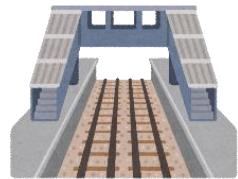
公共交通の面では、春江駅のエレベーターや身障者対応トイレの設置、西口広場と駅舎間の段差や勾配の改善、点字ブロックや音声案内による移動の連続性確保など、駅舎及び西口広場、駐車場、駐輪場の一体的・連続的なバリアフリー化が課題となっています。また、西口広場などにおける歩行者・自動車・自転車の動線整理（歩車分離）、車いすやベビーカー利用者や高齢者、福祉車両を使用して支援を行う方々も安心して利用できる、安全な送迎スペースの確保などへの対応も求められています。

バス交通の面では、バス停やバス車両のバリアフリー化など、鉄道からバス交通への移動の連続性確保も課題となっています。

道路空間の面では、歩道の勾配や舗装の劣化、点字ブロックによる連続的な誘導、グレーチングの隙間等の改善が課題となっています。

交通安全の面では、歩行者信号の音声案内などの改善が課題となっています。

心のバリアフリーの面では、高齢者や障がい者等への理解の醸成など、様々な立場の人への理解を進め、お互いに共存できる場づくりを進めていくための取組強化が課題となっています。

バリアフリー化の課題		
【課題1】 公共交通機関の バリアフリー化	<ul style="list-style-type: none">駅舎のエレベーターや身障者用トイレなどの新設、駅舎～西口広場～周辺地区の一体的・連続的なバリアフリー化が必要です。	
【課題2】 歩行者空間の バリアフリー化	<ul style="list-style-type: none">点字ブロックの連続性の確保、歩道の新設・改善、段差や勾配の改善など、歩行者空間の一体的・連続的なバリアフリー化が必要です。	
【課題3】 歩行者の 交通安全の確保	<ul style="list-style-type: none">歩行者・自動車・自転車の動線整理（歩車分離）や歩行者信号における音声案内の導入など、誰もが安全に安心して移動できる歩行者空間の整備が必要です。	
【課題4】 心のバリアフリー の促進	<ul style="list-style-type: none">バリアフリー化の重要性や高齢者・障がい者、親子連れや外国人等に対する理解を深め、行動につなげる「心のバリアフリー」を進めることが必要です。	

5-3 バリアフリー化に関する取組方針

移動の円滑化を促進するため、本市の関係部署が一体となって取組を進めるとともに、国や県または民間事業者と連携し、可能なところから一体的・連続的なバリアフリー化に向けた整備や補修を推進します。

施設整備等を実施する際は、地域の課題や住民のニーズなどを踏まえてバリアフリー化を推進するとともに、計画・設計段階において高齢者や障がい者など当事者の意見を反映する機会を設けることを目指します。

5-3-1 鉄道駅・バス等のバリアフリー化

- ・春江駅における出入口からホームまでの連続するバリアフリー化された経路の確保
- ・春江駅における高齢者や障がい者等が利用しやすいトイレへの改修及びその案内表示の設置
- ・西口広場などにおける歩行者・自動車・自転車の動線整理（歩車分離）の徹底
- ・車いすやベビーカー利用者にも配慮した安全な送迎スペースの確保
- ・鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー等、移動手段の確保による誰もが安全で円滑に移動しやすい交通体系の構築
- ・バス停留所の必要箇所における視覚障がい者誘導用ブロックの設置
- ・乗降負担の少ないノンステップバスなど、車両入替のタイミングにおける計画的な導入

5-3-2 道路等のバリアフリー化※

- ・視覚障がい者誘導用ブロックの適切な整備・補修
- ・歩道と車道との段差、勾配の緩和
- ・バリアフリーに配慮した側溝蓋やグレーティングなどの工作物の施工

5-3-3 交通安全施設等のバリアフリー化

- ・交差点部における道路横断の安全確保に資するバリアフリー化に対応した信号機の整備

5-3-4 心のバリアフリー

- ・高齢者、障がい者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する心のバリアフリーの啓発・広報活動及び様々な機会を活用した幅広い教育活動等の推進
- ・事業者・施設設置管理者における移動等円滑化を図るために必要な職員の教育訓練
- ・歩道や視覚障がい者誘導用ブロック上へのみ出し看板や迷惑駐輪、交通マナー等の問題によりバリアが発生している事案に対する啓発活動等を通じたモラル向上のための取組の促進

※) 道路の維持管理に伴う補修については、継続的に実施。